

MELSEC iQ-R シンプルCPU通信接続ガイド

RJ71EN71 RUN ERR

CC-Link IE Bontrol

(RJ71EN71 - 株式会社キーエンス KV-8000接続編)



1.	概要		3
	1.1	概要	4
	1.2	システム構成	5
	1.3	設定70-	6
2.	MELS	EC iQ-Rの設定	7
	2.1	プロジェクトの作成	8
	2.2	自局の設定	10
	2.3	シンプルCPU通信設定	11
3.	KV-80	000の設定	15
	3.1	ユニット設定	16
4.	動作確	言わ 同心	
	4.1	動作例	19
	4.2	動作確認	20



1. 概要



本書では、 MELSEC iQ-RシリーズEthernetユニットRJ71EN71と株式会社キーエンス製PLCのKV-8000を、 Ethernet(シンプル CPU通信機能)で接続するための設定手順を説明しています。

シンプルCPU通信機能は、パラメータを設定するだけでEthernetで接続された機器間でのビットデバイス/ワードデバイスを読み書きできます。

4



本書では, 下記のシステム構成で説明しています。



USBケーブル

機器/	ソフトウェア		形名	F/Wバージョン 機能バージョン	IPアドレス
(1)	CPUユニット		R04CPU	66	—
(2)	Ethernetユニット		RJ71EN71	75	192.168.0.40
(3)	CPUユニット		KV-8000	2.701	192.168.0.10 (デフォルト)
(4)	設定用パソコン	GX Works3 ^{*1}	—	—	_
		KV STUDIO ^{*2}			

*1 本書では、バージョン1.101Fを使用します。

*2 本書では、バージョン11.64を使用します。



前項の「システム構成」にて、シンプルCPU通信で接続するための設定手順について説明します。 下記の手順に沿って、設定や動作確認を行います。 MELSEC iQ-RはGX Works3で、KV-8000はKV STUDIOで設定を行います。





2. MELSEC iQ-Rの設定

2.1 プロジェクトの作成



GX Works3でMELSEC iQ-Rシリーズのプロジェクトを作成します。

1. プロジェクトを新規作成します。

シリーズ: RCPU

機種: システム構成に合わせて設定

新規作成		×
シリーズ(<u>s</u>)	🐗 RCPU	~
機種(<u>T</u>)	12 R04	~
動作モード(<u>M</u>)		\sim
プログラム言語(<u>G</u>)	🎂 ラダー	~
	ОК	キャンセル

 [ナビゲーション]→[ユニット構成図]でユニット構成図を設定します。
 必要なユニット(ベースユニット,電源ユニット,CPUユニット, 情報ユニット「RJ71EN71」)をシステム構成に合わせて設定します。

Image: Section 1 Image: Section 1 Ima		
CUTUDA TOTOTA	ar p 38+0	
Image: Control of the control of	DIZIENIZI	
2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -		
		5 <u>a</u> r
	表示対象:	全て
(1 スキシ)	モーションユニット	
■ ② RMN ■ ○ Phi/S4k □ 70/5/s/k □ 70/5/s/k ④ 70/5/s/k ● 10/5/s/k ● 10/	シンプルモーション	
	パルス入出力・位置決め	
	電力計測	
● 70951.6% 意思問 ● 70951.6% ● 日報 ● 日本 ●	情報ユニット	
他 定規用 値 不(ハ) 値 所 作 和 所分/7度変し ● 主急が0.75% (FX7.2 , (G3-9)	RD55UP06-V	C言語インテリジェント機能(10
前 (不少)ト 前 時間 前 第月7475度なし。 本 まを計力が方し。 下程(日本) (5%/7.2 (153-9	RD55UP12-V	C言語インテリジェント機能(10
低 府衛 第第9479年度40. ● 素容が107950. 1870W 57K7 7K7ス 1(Sy-9	RD81DC96	高速データコミュニケーション(10
作 第月27月2540 曲 ま設計力75/b 「現日和 ま設計力75/b 「第月21日 「第17月2 「「15/-9	RD81DL96	高速データロガー(1000BASE-
備 金倉市207512 FB/FUN FS/FUN F7/FUN F	RD81MES96	MESインタフェース(1000BASE
TPURIN ■ TPURIN (#7/7.2 (#53-9	RD81MES96N	MESインタフェース(1000BASE-
ig XNL デバイス /(53-59	RD81OPC96	OPC UAサーバ(1000BASE-T/
2 97/2 1 2 1/53-9	RD81RC96	レコーダユニット(1000BASE-T/
.(53-9	RD81RC96-CA	カメラレコーダユニット(1000BA)
	RJ71C24	シリアルコミュニケーション(RS2)
	RJ71C24-R2	シリアルコミュニケーション(RS2:
	RJ71C24-R4	シリアルコミュニケーション(RS4)
	RJ71EN71(CCIEC)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	RJ71EN71(CCIEF)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	RJ71EN71(E+CCIEC)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	RJ71EN71(E+CCIEF)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	RJ71EN71(E+E)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	RJ71EN71(Q)	Ethernet(1000BASE-T/100B
	L DIZICROMAN	CD ID / 10/07+ 7/CD ID. 12
	RJ71EN71(E+E)	
	【概要】	ultrif Land Landon D. DODD
	Ethernet12971-212	.ット[ホート1/ホート2ネットワーク権別



2.1 プロジェクトの作成

3. ユニット構成図の「RJ71EN71」をダブルクリックし, [はい]ボタ ンをクリックしてパラメータを確定します。





RJ71EN71のポート1のユニットパラメータ(Ethernet)の"基本設定"から自局のパラメータを設定します。

1. RJ71EN71のIPアドレスを設定します。

IPアドレス: 192.168.0.40

设定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力	項目 ・ 白ノード設定 ・ パラメータ設定方法 ・ Pアドレス設定 タアドレフ	設定 パラメータで設定 1920-1580 0.40
 □ 基本設定 □ ● ② 基本設定 ● ● ○同致定 相手機器接続構成設定 □ ● ● 応用設定 	プライントパスク プラオットパートウェイ デフォット・グートウェイ マットワークNo / 局番による交信 ネットワークNo / 局番の設定方法 ネットワークNo 局番 トランジエント伝送グループNo RUN中の書込み許可(禁止設定 文信データコード オーンプト活い設定 相手報器接続構成設定 相手報器接続構成設定	12 : 100 : 0 : 10 第23 : 100 : 0 : 10 IPPFに又を利用する
項目一覧 検索結果	1989 自ノードのIPアドレスを設定します。 クノード交(官する相手機器が同じクラス、 IPアドレスが未設定の場合、1921168.340代 POドロン1921063.340代 PUドロン103.340代 PUドロン103.340(PUFUI03.340(PUF	サブネットのアドレスになるように設定してください。 ルアIENT1 PORTI/)122.188.440(R,171EN711 やっトが設定されているものとして動作します。 マドレスとして使用します。 カする場合) フォルトに戻す(<u>U)</u>



RJ71EN71のポート1のユニットパラメータ(Ethernet)の"応用設定"からシンプルCPU通信を行うための設定をします。

1. シンプルCPU通信設定のシンプルCPU通信使用有無を"使用 する"に設定し,シンプルCPU通信を有効にします。

0000:RJ71EN71(E+E) ユニットパラメータ			×
設定項目一覧	設定項目		
検索する設定項目をここに入力	項目	設定	^
	シンプルCPU酒信使用有無	使用する	~
PE B本 S本 Sを表現定 ・ ・ ・		。 () () ())) ()))))))))))))	, ,
< > > 項目一覧 検索結果	チェック(<u>K)</u>	デフォルトに戻す(<u>U</u>)	~
		道用	(<u>A</u>)

2. シンプルCPU通信で読出し/書込みする相手機器を設定します。 シンプルCPU通信設定の"<詳細設定>"をダブルクリックします。

設定項目 項目 シンプルCPU通信設定 → シンプルCPU通信設定 → CPU応答監視タイマ → 単位 → シンプルCPU通信設定	17.00	使用する う 言詳新聞設定>	設定		
0000:RJ71EN71(E+E) ユニットパラメータ					x
設定項目一覧 検索する設定項目をこに入力	設定項目 通信開始待ち時間 通信開始待ち時間		🛙 s (Os~255s)	交信相手フィルタ 全表示	
	設定 通信	交信設定:		交信相手 (1928-2)	^
 ★茶する以定項目をここに入力 〒 BI ● 白ノード設定 相手機器接続構成設定 ● 白ノード設定 相手機器接続構成設定 ブレーム設定 ブレーム設定 ブレーム設定 ジンブルCPU設定 ● ののBUS/TGP設定 ● ジンブルCPU適信設定 ● ジンブルCPU適信設定 ● ジンブルCPU適信設定 ● ジンブルCPU適信設定 ● ジンク以合用の少く改定 ● ジンク以合用の少く改定 ● ジンク以合用の少く改定 ● マンブルCPU適信設定 ● ジンブルCPU適信設定 ● キャンプルCPU適信設定 ● キャンプルCPU適信設定 ● キャンプーの場合 (*)の知道(*) ● エッジブ能力 ■ コンの設定 ■ アパケットや掲載定 ■ キャングに、 	NO. 7/3 ⁻) 1 2 3 4 5 5 6 7 8 ≪ 1 8 8 ≪ 1 8 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	※11回/ma、(ffs) 第二7後、通信を開始 定)	転送元 するまでの時間を設定して	→ → → → → → → → → →	*
< >> 項目一覧 検索結果	チェック(<u>K)</u>	<u></u>	フォルトに戻す(<u>U</u>)		~
				適用	(<u>A</u>)



3. KV-8000からビットデータ/ワードデータを読み出すため,設定 No.1に以下の項目を設定します。



項目			設定内容		
通信パターン	ン		読出		
交信相手	転送元	機器種別	キーエンス(KVシリーズ)		
		IPアドレス	192.168.0.10		
		TCP/UDP	UDP		
		ポート番号	5000		
		自局ポート番号	8500		
ビット	転送元		種別: MR, 先頭0~最終15		
テハ1ス	転送先		種別: M, 先頭400		
ワード	転送元		種別: DM, 先頭10~最終10		
テハイス	転送先		種別: D, 先頭110		

KV-8000ヘビットデータ/ワードデータを書き込むため,設定 No.2に以下の項目を設定します。

設定 No.	通信	交信 実行間	設定: 隔(ms)	3 (1)	を信相手 Pアドレン	手 ス)	対象 号機	
1				転送元	->	転送先		
1	読出	定期	100	キーエンス(KV)(192.168.0.10)	->	自局(192.168. 0.40)	指定なし	
2	書込	定期	100	自局(192.168. 0.40)	->	キーエンス(KV)(192.168.0.10)	指定なし	

			ビットディ	ドイス							ワードデ	バイス			
占选加		転送元		、 、		``	->	転送先 転送元	転送元		_		転送先		
凤鼓	種別	先頭	最終	-/	種別	先頭	最終	NG BX	種別	先頭	最終	-/	種別	先頭	最終
16	MR	0	15	->	М	400	415	1	DM	10	10	->	D	110	110
16	М	0	15	->	MR	400	415	1	D	10	10	->	DM	100	100

項目			設定内容
通信パターン	ン		書込
交信相手	転送先	機器種別	キーエンス(KVシリーズ)
		IPアドレス	192.168.0.10
		TCP/UDP	UDP
		ポート番号	5000
		自局ポート番号	8500
ビット	ット バイス 転送元 モンジェンク モンジェンク 100 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
テハイス	転送先		種別: MR, 先頭400
ワード	転送元		種別: D, 先頭10~最終10
	転送先		種別: DM, 先頭100

シンプルCPU通信設定



5. [適用]ボタンをクリックして,ユニットパラメータの設定を完了し ます。

1項目一覧	設定項目								
検索する設定項目をここに入力		通信開始(待ち時間) 通信開始(待ち時間) ② (0s~255s) 文信相手フィルタ 全表示							
 ■ ● ▲本設定 ● ④ 基本設定 	設定	通信 成二、	交信	发定: 厚(ms)		交信相手 (IPアドレス)			-
相手機器接続構成設定	140.	100 0	×1.181	Kan III a /	₽ <u>z</u> :	送元	->		
日本 応用設定	1	読出 ~	定期	100	キーエンス(KV)(192	. 168 . 0 . 10)	->	自局(192.16	
通信速度設定	2	書込	定期	100	自局(192.168.	0.40)	->	キーエンス(KV	
Int a catagastic FTササーパ語定 FTササーパ語定 FTササーパ語定 FTサーパ語定 FTサーパ語定 FT・レンプルGPU適量指数定 デーレンズは用のシイマ語定 セキュリティ マケーシングルマ型語 Tサレック局・インド間速 体 Tサレック局・インド間速 体 Tサレック局・インド間速 体 Tサレック局・インド間速 体 Tサレックト中地 State Tサリンクト中地 State Tサリンクト中地 State Zーシャ State Zーシャ State State Zーシャ State State	3						->		
	4						->		
	5						->		
	0						->	-	
	0	-	-				->		
	0							-	
									Î
	, 説明 キーエン 部 にR(0~ ・R(0~ ・LR(0~ ・CR(0~ ・CR(0~ ・T(0~	ス(KVシリーズ 囲) 199915) 0H~7FFFH ~999915) ~99915) ~99915) ~7915) 2999)) のデバイス)	ま以下の	範囲としてください。				
> 目一覧 検索結果		チェック(<u>K</u>)		Ŧ	フォルトに戻す(山)				

Point

[適用]ボタンをクリックしないと、パラメータは反映されません。

 メニューバーの[オンライン]→[シーケンサへの書込み]をクリック します。





7. [パラメータ+プログラム]ボタンをクリックし, [実行]ボタンをク リックしてパラメータを書き込みます。

ラインデータ操作	846/10								-		
	аны. Э- 🔜 📢 🇊	読出し 📕	3,	T	照合 🔙) 🔷 🇊 I	1Ø#				
パラメータ+プログラム(E) ツリーの全開閉(<u>T</u>)	全選択(A) 全解除(N)	 CPUp 	内蔵メモリ		SD)	モリカード	🚹 インテリジェント機能ユニット				
ユニット形名/データ名		*		6	書美彩田	見出し文	更新日時	サイズ(バイト)		1
RJ71EN71			_	_							
🖕 🐼 パラメータ											
- 🥐 システムノ	ラメータ/CPUパラメータ						2024/02/27 10:18:58	未計算			
- 🙆 ユニットパ	ラメータ						2024/02/27 10:53:42	未計算			
- 日本 メモリカー	ドバラメータ						2024/02/27 9:47:04	未計算			
- 🙀 UE-NK	スワード						2024/02/27 9:47:04	未計算			
😑 🋍 グローバルラ	50k										
- 🐏 グローバル	ラベル設定						2024/02/27 9:47:07	未計算			
🖯 🚰 プログラム		Z			目前後日						c
MAIN							2024/02/27 9:47:08	未計算			l
🛛 🗟 デバイスメモリ)										l
- 🖅 MAIN					目前相	_	2024/02/27 9:47:07	-			ŀ
メモリ容量表示(リ容量	D S										
サイズ計算(1)	プログラムメモリ								空き容量		
(6)									1077 TOUR D		
179	テータメモリ								生き容量		
使用済み容量			0						13047 20490	5	
增加容量	テハイス/ラベルメモリ(ファ	1ル 裕納領場	0						空き容量 DEE / DEE / D		
減少容量									200/200KB		
	SDメモリカード								望き容量		
残容量5%以下									0.000		

Point

書込みが完了した後は, CPUユニットをリセット, または電源を OFF→ONしてください。



3. KV-8000の設定



KV STUDIOでKV-8000シリーズのプロジェクトを作成し、ユニット設定情報を書き込みます。

1. プロジェクトを新規作成します。

対応機種: KV-8000

プロジェクト新規作成	×
プロジェクト名(<u>N)</u> KV-8000	対応機種(<u>K)</u>
位置(P) C¥Users¥00827¥Desktop	参照(<u>S</u>)
	< >
■■■==================================	OK キャンセル

2. [ユニット構成読出]ボタンをクリックして, 接続機器からユニット 構成を読み出します。



Point

ユニット構成を読み出す場合,あらかじめ設定用パソコンとKV-8000を接続しておく必要があります。

 ユニット設定(2)が以下のとおりに設定されているかを確認し, [OK]ボタンをクリックします。
 IPアドレス: 192.168.0.10(デフォルト) ポート番号(MCプロトコル UDP): 5000(デフォルト)

🛗 ユニットエディタ - 編	1集モード			-		>
ファイル(E) 編集(E)	変換(<u>P</u>) 表示(<u>V</u>) オプション(<u>C</u>) ウィンドウ(<u>M</u>) ヘルプ(<u>H</u>)			
💀 🝙 📾 🗶 🛛	b ib 🗹 📰 🖓 🗹 🗑 A		a 📾 🕅 🔍 🏣 🙆			
		- m m	wk			
			-75			
t菌: 57mm	KV-8000	1	ニット選択(1) ユニット設定	定(2)		
島 き: 90mm 奥行 き: 115mm		Ţ	: 🚝 🖂 📲 🖬 👫 🖣	OPC UA	[0]	KV-8
谐费電流: 400 mA		Ξ	ボート設定	-		
重重:340g			IPアドレス設定方法	(日)	定地アドレフ	<i>ι</i> (ж)
	R30000		IPアドレス	19:	2.168.0.10	
	-33915		サンキッドマスン	20	.200.200.0	
			通信速度	10)∕10MbpsÉ	1動(
			EtherNet/IP	使	用する(*)	
			OPC UAサーバ	使	利しない(*)
			FTPサーバ	使	利しない(*)
			KVS接続(TLS)	使	利しない(*)
			上位リンク通信	有	助(米)	
			MCプロトコル通信	有	助(米)	
			KVS, KV COM+接続	有	助(米)	
			VT接続	有	动(米)	
			KVS経由通信	有	动(米)	
			受信タイムアウト [s]	10		
			キーブアライブ [s]	60	J	
			デフォルトゲートウェイ	0.0	.0.0	
			DNSサーバ	0.0	.0.0	
			ポート番号(KVS,KV COM	+,DB) 85	10	
			ポート番号(上位リンク通)	音) 85	11	
			ポート番号(VT接続)	85	J2	
			ボート番号(システム拡張) 85	J4	
			ボート番号(システム拡張	2) 85	J6	
			ホート番号(システム拡張	3) 85	И	
			ホート番号(OPC UAサー	/h) 0		
		1		UDP) 50		
			ホート番右(MCブロトコル	UDP) 50	JU	
			小一下番号(KVS接線(113	<i>m</i> 0		
		ب ا	ケット機能 パケット機能を使用すると以 ソケット0』~『ソケット15』、「	下の機能・腹 ドKVリケット共	定が利用で 通』	きます
メッセージ						

3.1 ユニット設定



4. メニューバーの[モニタ/シミュレータ]→[PLC転送]をクリックしま

す。

₹ <u></u>	7/シミュレータ(<u>N</u>)	デバッグ(<u>D</u>)	運転記録/リプレイ(<u>R</u>
-6-	エディタへ戻る(<u>X</u>)		Ctrl+F1
	通信設定(1)		•
	モニタモード(<u>B</u>)		Ctrl+Shift+F3
B	PLC転送→モニタ	7モ−ド(<u>C</u>)	Ctrl+F8
7	PLC読出→モニタ	7モ−ド <u>(M</u>)	Ctrl+F1
	PLC転送(<u>W</u>)		
Ð	PLC読出(<u>R</u>)		Ctrl+F5
Q	PLC照合/同期()	⊻)	

5. [実行]ボタンをクリックして, ユニット設定情報を書き込みます。

🞆 プログラム転送 [通信先: KV-8000 経路: USB]		Х
転送項目() 項目 マニット設定情報 グローバルデバイスコント グローバル変数 構造体 CPUジステム設定 ブログラム ブログラム ブログラム ブログラム ブログラム ブログラム ジログハレース設定情報 マニーザドクルアル機能設定情報 マニーザドクルアル機能設定情報 マニーザドキュメント 位置決めユニットバラメータ カメラ設定 マニーザ認証設定 全選択(S) 全解除(D) PLO内のプログラム/変数をクリア(Q) PROGRAMモードで転送(P) RUNモードで転送(B)	ユニット設定情報	



4. 動作確認



RJ71EN71とKV-8000が、シンプルCPU通信で正常に交信できるか動作確認を行います。 パラメータ書込み後に電源をONすると、以下のとおりに自動でデータが読み書きされます。GX Works3のウォッチウィンドウ、 KV STUDIOの登録モニタウィンドウを使用して、データが読み書きされていることを確認します。





GX Works3のウォッチウィンドウ, KV STUDIOの登録モニタウィンドウを使用して, デバイスの読出し/書込みを確認します。

GX Works3を起動して、MELSEC iQ-Rのプロジェクトを開き、 [表示]→[ドッキングウィンドウ]→[ウォッチ1]でウォッチウィンドウを表示後、読出し/書込みするデバイスを登録します。

ウォッチ1					
	✔ON/OFF反転 │ 🛃 更新 │	😨 ウォッチ開始 📗 🔞	ウォッチ停止		
名称	現在値	表示形式	データ型		
🔮 M400		2進数	ピット		
🔮 D110		10) 進数	ワード[符号付き]		
🚱 МО		2進数	ピット		
🚱 D10		10〕進数	ワード[符号付き]		
i読出し先デバイス: M400, D110 書込み元デバイス: M0, D10					

2. [オンライン]→[モニタ]→[モニタ開始(全ウィンドウ)]でGX Works3のモニタを開始します。

ウォッチ1【ウォッチ中】						
■●ON ●●OFF ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●						
名称	現在値	表示形式	データ型			
M400	FALSE	2) 進数	ビット			
🔮 D110	0	10)進数	ワード[符号付き]			
🔮 МО	FALSE	2) 進数	ピット			
🚱 D10	0	10進数	ワード[符号付き]			

3. KV STUDIOを起動して, KV-8000のプロジェクトを開き, ツールバーから[モニタ]をクリックして, モニタを開始します。

モニタ/シミュレー	·タ(<u>N</u>) デバッグ(<u>D</u>)	運転記録/リプ	レイ(<u>R</u>) ツ	ν−ル(<u>т</u>) י	ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)
- 💷	i ² 🔊 ida 🖄 🖬	🤹 🏛 🎒	DEV] DEV	F5 SF5 ⊣⊢ J⊬	F4 SF4 F7	SF7 F8 SF8 Ø- I ∷
H A H A	$\blacksquare \Rightarrow \Rightarrow = \bigcirc$	" 🗣 Ö 🛤	1 IF1	9		- איגעב 🗄
			エニク	7		
			オンライ	インエティット		
1	2		احتری احتری	ノータ ノータエディッ	ŀ	4
			リプレ・	ſ		

[モニタ/シミュレータ]→[登録モニタウィンドウ]で登録モニタウィンドウ]で登録モニタウィンドウを表示後,読出し/書込みするデバイスを登録します。





5. RJ71EN71からKV-8000へのデバイスの読出しでは, KV-8000のMR0を"●"に変更し, DM10に"50"を入力します。

을 登録モニタ						
🈬 🔒 🔛 🐺 🖽	🆽 🖷 🖳					
プログラム/ユニット	デバイス	参照先	現在値	表示形式		
ク゛ローハ゛ル	MR0.00	-	•	2進数1BIT		
<u> </u>	DM10	-	50	10進数16BIT		
ク゛ローハ゛ル	MR400	-	-	2進数1BIT		
ク゛ローハ゛ル	DM100	-	0	10進数16BIT		
<						

 6. KV-8000のビットデバイス/ワードデバイスを変更後,GX Works3のウォッチウィンドウでデータが読み出されていることを 確認します。 R04CPUのM400が"TRUE",D110が"50"となれば正常

に読出しができています。

KV STUDIOの 登録モニタウィンドウ

📰 登録モニタ				
😬 🗄 📑 🖪	li 🖽 📲 🚽			
プログラム/ユニッ	トニデバイス	参照先	現在値	表示形式
ク゛ローハ゛ル	MR0.00	-	•	2進数1BIT
ク゛ローハ゛ル	DM10	-	50	10進数16BIT
ク゛ローハ゛ル	MR400	-	-	2進数1BIT
クドローハドル	DM100	-	0	10進数16BIT
<				
GX Works3の ウォッチウィンド	0 ל	読出し		
ウォッチ1【ウォッチ中】				
	🕇 ON/OFF反転 🛛 💈	更新 霞ウォ	ォッチ開始│ <mark>₽</mark> ?り	オッチ停止
名称	現在値	表示	形式	データ型
🚱 M400	TRUE	2〕進裝	<u>ل</u>	˻h
🔮 D110	50	10逍	数	ワード[符号付き]
🔮 M0	FALSE	2〕進裝	t I	ビット
🔮 D10	0	10進	数	ワード[符号付き]



RJ71EN71からKV-8000へのデバイスの書込みでは, R04CPUのM0を"TRUE"に変更し, D10に"100"を入力し ます。

ウォッチ1【ウォッチ中】						
➡ON ◀ ┣ OFF ✔ ON/OFF反転 ② 更新 國 ウォッチ開始 國 ウォッチ停止						
名称	現在値	表示形式	データ型			
🔮 M400	TRUE	2〕進数	ビット			
D110	50	10)進数	ワード[符号付き]			
🕵 мо	TRUE	2〕進数	ピット			
🚯 D10	100	10〕進数	ワード[符号付き]			

R04CPUのビットデバイス/ワードデバイスを変更後,KV
 STUDIOの登録モニタウィンドウでデータが書き込まれていることを確認します。
 KV-8000のMR400が"●",DM100が"100"となれば正

常に書込みができています。

GX Works3の 登録モニタウィンドウ

ウォッチ1【ウォッチ中】					
	✔ON/OFF反転 🛛	更新	國ウォッチ	開始 🔞	フォッチ停止
名称	現在値		表示形式	<u>.</u>	データ型
M400	TRUE		2 進数		ビット
D110	50		10)進数		ワード[符号付き]
🔞 M0	TRUE		2)進数		Ëуh
D10	100		10進数		ワード[符号付き]
KV STUDIO(ウォッチウィンド・	ש ל ל	書込	<u>い</u> み		
┋ 登録モニタ					
😬 🔒 🔛 🗉	l 🖽 🖷 🚽				
プログラム/ユニッ	トニデバイス	参照	先	現在値	表示形式
<u>ク*ローれ*ル</u> カ*ロール*ル	MR000	i,	-	50	・21進安灯1BIT 103年3年10日TT
2 ሀ 70 μ ዕ° በ ሩ እ° ዜ	MR400	•	-	30	10,進安(1001) 2;崔紫灯BIT
ታ°⊡∽ለ°⊮	DM100		-	100	10進数16BIT
<					



安全にお使いいただくために

- ・設計上の注意, 配線上の注意等に関しましては, ご使用の製品マニュアルに記載の安全上のご注意をお読みください。
- ・製品保証内容については、ご使用の製品マニュアル記載の保証についてをお読みください。

おことわり

- ・本書に記載されている事例は参考用のため、動作を保証するものではありません。 ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をお客様自身でご確認のうえ、ご使用ください。
- ・ご使用の製品のバージョンにより使用できる機能や設定が異なるため、本書記載のバージョンを満たした製品を使用してください。 製品のバージョンによっては、設定の内容や手順、画面が本書と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。その際は、ご 使用の製品マニュアルやソフトウェア内ヘルプを参照してください。
- ・本書の内容に関しては, 改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますので, あらかじめご了承ください。
- ・本書内で使用するソフトウェアと機器との接続方法については、各ソフトウェアおよび接続対象機器のマニュアルをご確認ください。
- ・本書の内容について詳細を確認したい場合は、関連マニュアルをお読みください。



最新のマニュアルPDFは、各メーカサイトからダウンロードできます。

・三菱電機FAサイト: www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

マニュアル名称	マニュアル番号
MELSEC iQ-R Ethernetユーザーズマニュアル(応用編)	SH-081253
GX Works3 オペレーティングマニュアル	SH-081214

・株式会社キーエンス: www.keyence.co.jp/

マニュアル名称	マニュアル番号
EtherNet/IP機能 KV-8000(A)/7500/5500/EP21V/NC1EP ユーザーズマニュアル	_
KV-8000シリーズユーザーズマニュアル	—
KV STUDIO ユーザーズマニュアル Ver.11	—

三菱電機株式会社

▲ 安全に関するご注意

本資料に記載された製品を正しくお使いいただくためご使用の前に必ず 「マニュアル」をお読みください。

三菱電機 FA 検索 メンバー www.MitsubishiElectric.co.jp/fa 商標、登録商標について

本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。 本文中で、商標記号(™、®)は明記していない場合があります。

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や 各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルや CADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

BCN-89999-9005-A(2403)

2024年3月作成